

ライフケアガーデン湘南 通所介護

症 例 概 要 利用者氏名：I 様 （ 80代 女性 要介護1 ）

利用期間：平成24年7月～平成30年6月現在

主疾患：膝関節痛

平成16年頃に主人がなくなり、長女と同居になる。背骨湾曲の為、膝関節痛あり。痛みの強いときにブロック駐車を受けていた。リバスタッチの使用あり。家に戻ると臥床時間が多くなるので、外出する時間を増やして、家族以外の人との交流を持ち楽しい時間過ごしてもらいたい。日々を活性化して物忘れを予防したいとのことでデイサービスの利用となる。

内 容

京都出身の穏やかな性格で上品な口調でお話しされる方です。決して積極的な方ではなく控えめな性格の方でした。海外生活を多く経験され趣味も多く、手先も器用で塗り絵等は介護スタッフも絶賛するほどきれいに仕上げている様子がありました。送迎したある日、I様の趣味の話をお聞きし、平成27月にデイサービスのレクリエーションとしてラベンダースティック作り（生花を利用したアロマスティック）をI様に先生になっていただき、行うことになりました。一本のラベンダースティック作りに参加の利用者が四苦八苦していると、I様は積極的に周りの方へ赴き、丁寧に指導手助けしてくださいました。日頃見られない自発的な行動にスタッフも感動しておりました。

平成28年3月、デイサービス利用中に体調が悪くなり病院へ。診断は脳梗塞でした。幸いにも処置対応が早く大きな麻痺は残りませんでした。失語、失認の症状がみられ生活動作全般に機能低下が見受けられるようになりました。

3週間程の入院後、デイサービスの利用再開となりましたが、以前のようにスムーズに言葉がでず、口数も少なくなっていました。

以前の輝いていたI様の姿を観たいとスタッフ同士で考えている中、ラベンダーが咲く季節に、再度ラベンダースティック作りを試みようとして長女にも相談をしながらレクリエーションを再開しました。その時のI様は以前のように積極的に指導され、発語も回を追うごとにスムーズになっていました。周りの利用者さんからもI様の器用さを褒められ、謙虚な姿勢は崩さず、その姿はどこか自信に満ち溢れているように輝いていました。

家族を巻き込み、利用者さんの趣味ややりがいを引きだし、反映させていくことで、責任感や社会性を取り戻せるだけでなく、楽しく、居心地の良いデイサービス作りが今回の事例に繋がりました。